

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月12日  
上場取引所 東

上場会社名 原田工業株式会社  
コード番号 6904 URL <http://www.harada.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 章二  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長 (氏名) 佐々木 徹  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3765-4321

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	10,189	3.8	△36	—	△32	—	△128	—
27年3月期第1四半期	9,820	17.8	407	67.3	395	12.7	229	46.5

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △316百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△5.89	—
27年3月期第1四半期	10.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
28年3月期第1四半期	33,729		13,066		38.7		600.71	
27年3月期	34,060		13,545		39.8		622.74	

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 13,066百万円 27年3月期 13,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	3.3	300	△58.6	250	△68.6	100	△77.5	4.60
通期	41,000	3.1	900	3.8	750	△23.6	350	0.9	16.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	21,758,000 株	27年3月期	21,758,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	6,545 株	27年3月期	5,984 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	21,751,930 株	27年3月期1Q	21,752,566 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境の改善を背景とした個人所得の増加による個人消費が増加しており、回復基調が続いております。欧州では雇用の改善基調が続いており、緩やかながら回復が続いております。アジアにおいては、中国では個人消費や輸出の伸びの鈍化等を背景に、内需・外需ともに減速感が強まっており、景気拡大のテンポは一段と緩やかなものとなっております。また、アセアン地域では総じて足踏み状態となっております。

日本国内経済につきましては、企業収益や雇用情勢の改善傾向、個人消費における持ち直しの兆しを背景に、緩やかな回復基調が続いております。

先行きにつきましては、世界経済は一部に弱さが見られるものの、総じて緩やかな回復が期待されます。日本国内経済は、雇用・所得環境の改善傾向や生産、設備投資の持ち直しを背景に緩やかな回復が期待されます。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が日本、アセアン地域、欧州では減産と、北米、中国では増産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ微増となりました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適な企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、一部地域での低迷はありましたが、拡販活動や為替の影響等により101億89百万円（前年同期比3.8%増）となりました。利益面につきましては、売上原価率及び販管費率の上昇により営業損失は36百万円（前年同期は営業利益4億7百万円）、経常損失は支払補償費を計上したこともあり32百万円（前年同期は経常利益3億95百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億28百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億29百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①日本

輸出の減少、自動車生産台数の減少により、外部売上高は27億99百万円（前年同期比8.3%減）、セグメント間の内部売上高は11億50百万円（同12.2%増）、営業利益は売上高の減少及び販管費率の上昇により1億67百万円（同9.8%減）となりました。

## ②アジア

アジア市場は低迷しましたが、為替の影響等により、外部売上高は25億11百万円（同0.5%増）、セグメント間の内部売上高は35億67百万円（同0.5%減）、営業損失は売上原価率等の上昇により2億39百万円（前年同期は営業利益84百万円）となりました。

## ③北中米

米国及びメキシコの市場回復傾向及び為替の影響等により、外部売上高は36億60百万円（前年同期比11.4%増）、セグメント間の内部売上高は17百万円（同18.3%増）、営業利益は46百万円（同60.2%減）となりました。

## ④欧州

欧州市場での拡販活動及び為替の影響等により、外部売上高は12億18百万円（同23.7%増）、セグメント間の内部売上高は3百万円（同69.1%減）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、260億26百万円（前連結会計年度末266億12百万円）となり、5億86百万円減少いたしました。

主に、「仕掛品」が90百万円増加し、「現金及び預金」が4億円、「原材料及び貯蔵品」が3億4百万円減少いたしました。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、77億2百万円（前連結会計年度末74億47百万円）となり、2億55百万円増加いたしました。

主に、「有形固定資産」が2億10百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、162億74百万円（前連結会計年度末163億28百万円）となり、53百万円減少いたしました。

主に、「賞与引当金」が1億38百万円増加し、「支払手形及び買掛金」が87百万円、「短期借入金」が58百万円減少いたしました。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、43億88百万円（前連結会計年度末41億85百万円）となり、2億2百万円増加いたしました。

主に、「長期借入金」が2億10百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、130億66百万円（前連結会計年度末135億45百万円）となり、4億79百万円減少いたしました。

主に、「利益剰余金」が2億91百万円、「為替換算調整勘定」が2億3百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期連結業績予想につきましては、平成27年5月19日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,920,721	5,520,479
受取手形及び売掛金	7,880,549	7,909,134
商品及び製品	5,475,904	5,509,612
仕掛品	595,250	685,596
原材料及び貯蔵品	4,617,616	4,313,538
その他	2,139,816	2,104,840
貸倒引当金	△17,004	△16,404
流動資産合計	26,612,854	26,026,797
固定資産		
有形固定資産	5,042,784	5,253,423
無形固定資産	404,489	414,759
投資その他の資産		
その他	2,002,357	2,036,866
貸倒引当金	△2,405	△2,405
投資その他の資産合計	1,999,951	2,034,460
固定資産合計	7,447,226	7,702,644
資産合計	34,060,080	33,729,441
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,103,778	4,016,009
短期借入金	9,501,375	9,442,404
1年内返済予定の長期借入金	725,000	725,000
賞与引当金	289,503	428,298
役員賞与引当金	30,800	6,525
その他	1,678,051	1,656,603
流動負債合計	16,328,508	16,274,842
固定負債		
長期借入金	3,562,500	3,772,500
退職給付に係る負債	241,799	229,497
その他	381,477	386,358
固定負債合計	4,185,777	4,388,356
負債合計	20,514,285	20,663,198
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	8,722,272	8,431,103
自己株式	△2,007	△2,164
株主資本合計	12,599,427	12,308,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,259	52,492
為替換算調整勘定	972,407	768,799
退職給付に係る調整累計額	△63,300	△63,150
その他の包括利益累計額合計	946,366	758,141
純資産合計	13,545,794	13,066,242
負債純資産合計	34,060,080	33,729,441

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,820,814	10,189,459
売上原価	7,406,120	8,057,005
売上総利益	2,414,694	2,132,454
販売費及び一般管理費	2,007,449	2,169,445
営業利益又は営業損失(△)	407,244	△36,991
営業外収益		
為替差益	—	104,726
保険解約返戻金	39,391	—
その他	34,323	44,565
営業外収益合計	73,715	149,291
営業外費用		
支払利息	34,733	37,755
支払補償費	—	104,256
為替差損	39,023	—
その他	12,034	2,437
営業外費用合計	85,791	144,449
経常利益又は経常損失(△)	395,168	△32,150
特別利益		
固定資産売却益	2,458	790
特別利益合計	2,458	790
特別損失		
減損損失	5,459	1,809
固定資産除却損	106	2,949
固定資産売却損	2,891	—
特別損失合計	8,457	4,759
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	389,169	△36,118
法人税、住民税及び事業税	58,980	186,491
法人税等調整額	100,508	△94,581
法人税等合計	159,489	91,910
四半期純利益又は四半期純損失(△)	229,680	△128,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	229,680	△128,028



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	229,680	△128,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,903	15,232
為替換算調整勘定	△305,568	△203,608
退職給付に係る調整額	1,191	149
その他の包括利益合計	△292,473	△188,225
四半期包括利益	△62,792	△316,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,792	△316,254
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係注記)

偶発債務（訴訟関係）

当社グループと取引のある保定長城汽車股份有限公司（以下、「長城汽車」という。）は、中国に本社のある泰州蘇中天線集団公司（以下、「蘇中天線」という。）より、長城汽車のシャークフィンアンテナが蘇中天線の所有する特許を侵害しているとして、当該特許技術を利用した製品の製造、販売に関する行為の差し止め等及び損害賠償（6,000万人民元）を請求する訴訟を南京裁判所に提起されております。

当社の連結子会社である上海原田新汽車天線有限公司（以下、「上海原田」という。）は、当該製品の一部を、平成25年5月14日より長城汽車に対して製造・販売しております。これにより、平成27年6月26日付で、上海原田は、長城汽車との間に締結している取引基本契約による紛争解決義務に基づき、長城汽車とともに当該訴訟の共同被告になっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,052,766	2,498,527	3,284,720	984,798	9,820,814	—	9,820,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,024,953	3,586,354	14,854	11,024	4,637,186	△4,637,186	—
計	4,077,720	6,084,882	3,299,574	995,823	14,458,000	△4,637,186	9,820,814
セグメント利益又は損失(△)	185,924	84,521	115,852	△16,893	369,405	37,838	407,244

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額37,838千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が5,459千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	2,799,081	2,511,592	3,660,694	1,218,090	10,189,459	—	10,189,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,150,250	3,567,169	17,573	3,411	4,738,405	△4,738,405	—
計	3,949,331	6,078,761	3,678,268	1,221,502	14,927,864	△4,738,405	10,189,459
セグメント利益又は損失(△)	167,628	△239,419	46,155	△2,331	△27,968	△9,023	△36,991

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△9,023千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が1,809千円であります。